

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、不祥事を許しません。
- 3 私達は、子ども達を守ります。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立 大成館中 学校  
作成責任者 校長 小寺和宏

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○サービス研修において、通知や新聞記事等の伝達が中心となっている。	○サービス研修の方法や内容等を見直し、より身近で起きているヒヤリとした事象を取り上げることを通して、研修がより身近に感じられるようにする。 ○おかしと思ったら、声に出す。	○全ての教職員を対象にサービス研修に係るアンケート調査を行い、方法や内容等を改善する。 ○不祥事の事案が新聞に掲載されたら、タイムリーに取り上げ、必ず、配りっぱなしにならないよう、コメントを加える。 ○定期的に不祥事防止委員会で状況交流を行う。	○学期に1回、サービス研修についてのアンケート調査を行う。 ○毎週金曜日を机上整理の日とし、カードを掲示する。 ○月に1回不祥事防止委員会を実施する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○教職員のそれぞれの行動規範に任せる傾向にある。	○不祥事防止委員会でサービス研修の内容や方法の検討により効果的な研修の実施を図る。 ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○教職員を孤立させない。	○不祥事防止委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○不祥事防止委員会で身近でヒヤリとする事象について交流し、チーム大成館として行動できることを徹底する。 ○日常的に声を掛け合える職場環境に努める。	○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○長期休業中は時間をとって、研修を年に3回実施する。 ○学期ごとに職員のアンケート調査を実施し、研修に生かす。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が年度当初のみであり、認知度が低い。 ○ホームページに年間同じままになっている。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。	○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○学期末懇談会において、相談窓口の案内プリントを配付するとともに、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。	○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学期末懇談会における保護者からの声を整理し、共通認識で対応する。